

# いちょう通信

平成 26 年 6 月 (第 8 号)

発行 社会福祉法人 八王子いちょうの会

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町 666

TEL 042-673-8055 / FAX 042-673-8054

## 再起動！ 週末余暇活動

4月より、週末余暇支援活動が新たに担当者を設け再開いたしました。以前は各事業所の持ち回りで行われていたこともあり、参加者も事業所ごとに集まったの活動になりがちでした。他事業所の利用者さんとの交流がほとんど見られず、事業所での活動の延長のような形でした。これからは八王子いちょうの会の利用者さん同士の交流の場となるように少しずつですが事業所間の垣根を取り払っていきたいです。プログラムの中に参加者が自ら選んで事業所関係なく参加していただける活動を提供できるように取り組んでいます。

担当者も専従ではなく支援員との二足の草鞋状態ですので、各事業所の協力を頂きながらの再出発です。至らぬ点多々あると思いますが、今後とも宜しくお願いします。

(週末余暇支援担当 戎)

週末余暇活動の日程は毎月第二土曜日を予定しています。5月10日は国営昭和記念公園で散策と軽運動を楽しみました。6月以降も染物体験、調理実習、ハイキングなど企画が盛りだくさんです。皆様ふるってご参加ください。



週末余暇活動では、東京ヴェルディ様のご厚意により4月26日(土)味の素スタジアムにて、J2リーグジュビロ磐田戦に招待いただきました。利用者さんの参加は24名となり、ほぼ同数のヘルパーを伴って京王線飛田給駅に降り立ちました。当日は天候に恵まれ快晴の行楽日和、大きなスタジアムで迫力あるサッカーの試合を満喫しました。普段出かける機会の少ない利用者さんも改札機に切符を通したり、電車に乗ったりなど日常生活ではなかなか経験できない社会活動に参加して、それもまた忘れがたい一日になったと思われまます。



## 福祉まつり

5月18日(日)富士森公園にて、第31回福祉まつりが開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くのお客様でにぎわいました。また、同時開催の「健康フェスタ」では楽しい演奏やダンス、お笑い芸人のレギュラーなどによるネタ見せなど大変盛り上がりしました。



八王子いちょうの会からは、みらいの焼鳥、虹のホットドッグと委託品の野菜販売、そらのフランクフルト、ゆぎのちぢみ、ぎんなんの家の焼きそばと玉こんにゃく、東浅川のポップコーン、どの事業所も行列ができて完売するほど大盛況でした。また、福祉まつりのステージには、いちょう工房虹によるハンドベル演奏が披露されました。見に来たお客様も笑顔で手拍子をしたり、歌ったりする人もいました。

参加された利用者さんは、美味しい食事をしたり、買い物をしたり他の事業所の友達と話をしたり、とても満足できたようでした。

## 新年度の入所者紹介

**いちょう工房東浅川** 4月2日入所式が行われ、男性1名・女性1名の計2名の方が入所されました。また4月7日から女性の方が1名入所され、全体で52名の在籍となりました。入所式では、新しく入った2名の方が緊張しながらご挨拶し、みなさんと美味しいケーキを食べてお祝いしました。

**いちょう工房そら** 昨年度は1月にMさん、2月にTさんが入所し、20名になりました。2名の方とも仕事がていねいで、大きな戦力になっています！

**いちょう工房ぎんなんの家** 昨年度支援学校を卒業されたAさんが4月から新しい利用者さんとして加わりました。はじめは室内に馴染めず、自動車の中だけで落ち着いていられたAさんですが、いまでは食事も自分の席に座ってできるようになりました。またプール活動が大好きで毎回のように参加しています。



### 梅澤恵子 (いちょう工房ぎんなんの家)

本年4月、いちょう工房ぎんなんの家に異動した梅澤職員を紹介いたします。梅澤職員は千葉県習志野市出身で八王子在住歴13年になります。家族構成はご主人、元気な男の子3人の5人家族で、八王子いちょうの会には平成11年から第二いちょう福祉作業所(現いちょう工房虹)に勤務していました。車の運転と旅行が趣味のとても朗らかな人柄です。

以下は本人のコメントです。

「第二いちょうに入ったときは何もわからなく、人見知りの性格だったので、利用者さんに話しかけることもなかなかできないでいましたが、出勤初日にみんなが質問攻めにしてくれたおかげで、とても気持ちが悪くなったのを覚えています。利用者さんの支援をしながらの作業で、毎日があっという間に過ぎていました。

ぎんなんの家では、みんなニコニコしていてとても楽しそうです。これからがんばりますので、よろしくお願いいたします」



## 各事業所の近況をご紹介

### ■ いちょう工房 みらい

いちょう工房みらいでは、25年度の締め括りの行事として、3月に日帰り旅行に行ってきました。コースは「スカイツリー・浅草散策・水上バス」1カ月前から、とても楽しみにされている利用者さんもいらっしゃいました。当日はお天気も良く、遠くの方まで見渡せて、スカイツリーの展望台から見た景色はとても素晴らしかったです。



その後は和食のバイキングで美味しい食事をいただき、皆で浅草の街を楽しみました。最後の水上バスでは乗っている時に雪が降って来て、晴天と雪景色という二つを味わえた一日となりました。26年度も楽しい旅行の計画を立て、利用者さんが楽しめる機会を沢山つくっていききたいと思います。



### ■ いちょう工房 そら

そらは就労継続B型事業所なので、仕事の場として利用者さんに来てもらっています。普段は作業中心ですが、旅行やボーリング、プール、カラオケなど仕事の合間の息抜きの行事もあり、仕事と遊びのメリハリをつけながら皆さん過ごしています。



2月28日から1泊で南房総へ旅行しました。鴨川シーワールドでシャチのジャンプを見て驚き、シャチに水をかけられて更にビックリしました。



昼食は恒例のバイキングです。地元鴨川の郷土料理や魚や貝など海の幸の入ったメニューからハンバーグ・ケーキなど、大好評で皆さんおなかいっぱいになりました。お笑いショーを見たり、普段できない経験をして楽しい2日間になりました。



これからも仕事をがんばりながら、遊んで楽しく過ごしていきましょう。

### ■ いちょう工房 ゆぎ

4月といえば桜なので、ゆぎでは小山内裏公園へお花見に行きました。公園へは歩き組と車組と分け、車組ではドライブしながら皆のお弁当を買いにいきお手伝いをしてくれ、歩き組は桜を見ながら公園まで行き、途中の桜並木



では風がふき桜吹雪の体験があり楽しく歩いていました。小山内裏公園では軽運動(野球、バドミントン)を行ったり、お散歩して楽しく過ごしていました。当日は気温も高く、そして沢山歩き大変だったと思いますが利用者さん全員とても頑張ってくれました。



今回掲載されなかった事業所については、次号以降のいちょう通信で順次ご紹介していきます！

# 平成26年度委員会名簿

各委員は以下のように決定いたしました。皆様よろしくお願ひいたします。

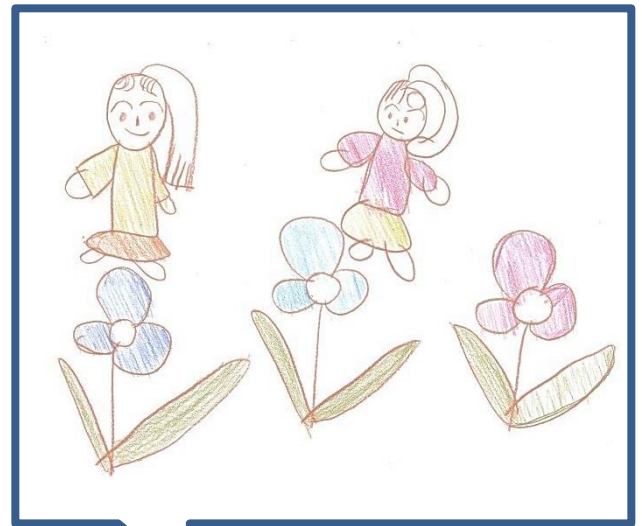
	東浅川	みらい	虹	そら	ゆぎ	ぎんなんの家	アイビー
広報	廣瀬	数馬	多田	山田	坂本	森田	谷田部
送迎	吉村	菅原	寺坂		土淵	松永	金子
研修	渡邊	石井（宏典）	近藤	大村	宇佐美	平田	金子
防災	杉寄	関戸	寺島	笠原	戎	守屋	久松

## 平成25年度資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		決算額
事業活動	事業活動収入計	403,743
	事業活動支出計	390,512
	事業活動資金収支差額	13,231
施設整備	施設整備等収入計	5,870
	施設整備等支出計	18,585
	施設整備等資金収支差額	-12,715
その他活動	その他の活動収入計	1,299
	その他の活動支出計	3,900
	その他の活動資金収支差額	-2,601
予備費		0
当期資金収支差額合計		-2,085



いちよう工房東浅川のOさんに  
可愛いイラストを描いて頂きました。

前期末支払資金残高	77,582
当期末支払資金残高	75,497

※各科目の金額及び合計額については、千円未満を切り捨てた金額で表示してあります。

## 福祉ニュース

### 「障害者総合支援法」一部改正について

平成26年4月1日から次の点が改正されています。

- ① 障害程度区分（判定項目106） → 障害支援区分（判定項目80）
- ② ケアホームのグループホームへの一元化
- ③ 重度訪問介護の対象拡大 → これまでの身体障害者対象が、重度の知的障害者も対象に

### サービス等利用計画について

平成27年3月31日までに、障害福祉サービスを利用している人全員がこの計画を相談支援センター、またはセルフプランにて作成し市に提出することになっています。ご本人がいろいろなサービスを利用している場合、サービス提供事業者は、その利用者さんの支援チームの一員と言う認識を共有しながら、それぞれで個別支援計画を作成します。本来の目的はご本人が望む暮らしをかなえる設計図を作ることです。

\*なお当法人は、誠に申し訳ございませんが、相談支援センターを開設する予定はありません。ただし、セルフプラン作成時のご相談には対応できるようにしていきたいと考えております。

(文責 崎田京子)